

第1回（仮称）羽田連絡道路の景観に関わる検討会

結果概要

開催日時：平成30年4月26日 10:00～12:00

開催場所：五洋JV 工事広報館 2F 会議室

出席者：福井座長、赤木副座長、委員、事務局

結果

- 鋼桁の色彩については、色彩検討の手順を踏まえ、景観に関わる専門的な知識・経験を有する有識者と関連する事業者・管理者等で構成する本検討会にて、色彩案を選定する。
- 鋼桁の色彩検討において、上位計画や架橋位置、橋梁形式選定における景観の着目点を踏まえ、色彩の考え方は次のとおりとする。
 - 多摩川の水辺環境と共生し、水辺景観の保全に資するような調和した色彩
 - 玄関口として先進性・新しい時代を感じさせる色彩
 - 橋梁ならびに多摩川や護岸の利用者が、落ち着き・開放感を感じるような周辺環境と調和する柔らかく明るい色彩
- 候補色の選定は、上位計画、色彩の考え方、環境色・人工物の色彩調査、視点場ごとの色彩検討を踏まえた7色の候補案を選定するとともに、次回の検討会で、現地にて確認を行い、色彩案を選定する。
- 国土交通省が整備する環状8号線連結路の鋼桁の色彩は、本検討会で選定された色彩案を考慮して検討する。
- 歩行者空間の高欄・防護柵については、「シルバー」、「グレーベージュ」、「ダークブラウン」を基本として、検討を行う。
- 照明は、河川環境へ配慮するため、低位置照明を採用し、夜間における橋梁の見え方についても検討を行う。
- 環状8号線との接続部は、関係者間で情報共有をするとともに、出来る限り、橋梁景観として連続性が保たれるよう、検討を行う。

以上